



大正琴の演奏を披露する町婦人連絡協議会の皆さん

いつまでもお元気で

敬老の集いに約 750 人が参加

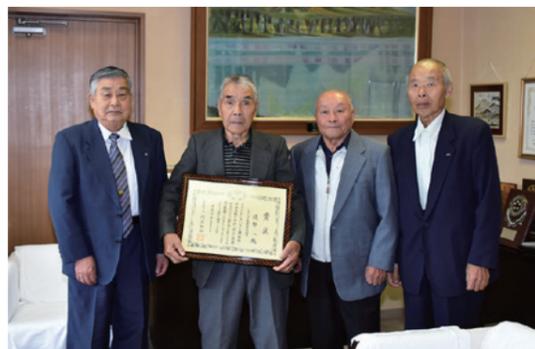
町敬老の集いは9月8日、カメリーナで開かれ、町内の71歳以上の高齢者ら約750人が参加しました。前後公町長らがあいさつした後、各地区の代表者に記念品が贈呈され、招待者を代表して小木良司郎町老人クラブ連合会長が謝辞を述べました。

引き続き行われた演芸では、町婦人連絡協議会の皆さんや中の沢保育所、ひまわりこども園の子どもたちが舞踊やダンスなどを披露しました。

高齢者の社会参加活動をたたえ

渡部一さんが「いきいき長寿県民賞」を受賞

年齢を感じさせない社会参加活動を行っている高齢者や団体をたたえる「第21回いきいき長寿県民賞」を受賞した渡部一さん(夷田)は9月20日、町役場を訪れ、前後公町長に受賞を報告しました。渡部さんは「三番叟保存会」の会員として老人ホームへの慰問活動や小学校の出前講座に参加。現在は、皿芸の指導役として後継者の育成にも力を入れています。報告には三番叟保存会の渡部義昭会長、野矢恒明副会長と一緒に訪れました。



前後町長に受賞を報告する渡部さん(左から2人目)ら



緑小学校の枝払いを行うビルドの会の会員

教育施設の環境向上のため

猪苗代ビルドの会がボランティア活動

町内の建設業者などでつくる猪苗代ビルドの会の会員約20人は9月14日、町内教育施設修繕などのボランティア活動を行いました。この活動は、同会の恒例行事として毎年開催しており、今年で21回目を迎えました。参加者は3班に分かれ、町内の小中学校やこども園の施設修繕や校庭の枝払いなどを行いました。

猪苗代ビルドの会の佐藤力会長は「子どもたちにより良い環境で学習してもらえれば」と話しました。

鈴木幸雄さんが100歳に

長生きの秘訣は歩くこと

9月21日に100歳の誕生日を迎えた鈴木幸雄さん(不動)への賀寿贈呈式は同日、ハーモニー猪苗代で行われました。会津保健福祉事務所の角田祐喜男副所長が知事賀寿と会津塗の木杯を贈呈し、前後公町長が賀寿と記念品などを贈りました。何でも食べて、歩くことが長生きの秘訣という鈴木さん。長女の長谷川麻利子さんは「明日からも自分の足で歩き、自分の口で食べ、朗らかに過ごしてほしいです」と謝辞を述べました。



前後町長から賀寿を受ける鈴木さん



体力測定を行う参加者

健康増進意識の高揚を図る

町民体力測定・ニュースポーツフェスティバル

町民体力測定・ニュースポーツフェスティバルは9月16日、カメリーナで行われました。参加者は、握力や上体起こしなどの測定結果から体力年齢判定基準表により体力年齢を判定したほか、「ふらば〜る」や「スカットボール」などのスポーツに親しみました。町民体力測定に初めて参加した金森未緒さんは「平均的な結果となり安心しました。今は運動をほとんどしていないので、何かスポーツを始めたいです」と話しました。

沼尻軽便鉄道廃線50年を記念し

和みいなで「軽便鉄道モジュール展」を開催

「軽便鉄道モジュール展〜語り継ぐ猪苗代の近代化遺産」は9月11日から24日まで、和みいなで開催されました。軽便鉄道が1968(昭和43)年に廃線となってから50年を記念して沼尻鉱山と軽便鉄道を語り継ぐ会などが企画しました。

会場には、沼尻軽便鉄道のディーゼル機関車や当時の町並みを再現した模型が設置されたほか、軽便鉄道の写真パネル34点が展示されました。



沼尻軽便鉄道のディーゼル機関車の模型



ソフトボールで熱戦を繰り広げる選手

スポーツで爽やかな汗を流す

町民球技大会中央大会

町民球技大会中央大会は9月9日、ソフトボールは町運動公園球技場で、家庭バレーボールはカメリーナを会場にそれぞれ開かれ、地区大会を勝ち抜いた代表チームが熱戦を繰り広げました。参加した選手たちは、スポーツを通じて親睦を深めながら、爽やかな汗を流しました。熱戦の末、ソフトボールは上戸・上戸駅前・湊志田チームが優勝。家庭バレーボールは、扇田チームが優勝しました。

佐藤キミエさんが100歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

9月21日に100歳の誕生日を迎えた佐藤キミエさん(木地小屋)への賀寿贈呈式は同日、佐藤さんの自宅で行われ、家族らが長寿を祝いました。会津保健福祉事務所の角田祐喜男副所長が知事賀寿と会津塗の木杯を贈呈。続いて前後公町長が賀寿と記念品などを贈呈しました。佐藤さんの長寿の秘訣は、食事を好き嫌いなく食べることと草むしりなどで適度な運動をすること。また、相撲が好きでテレビでいつも観戦しているそうです。



前後町長から賀寿を受ける佐藤さん